

# 豊かな海ってなんだろう？

どんな魚がいるのかな？ 砂浜のやくわりは？ 海の色ってホントは何色？

豊かな海。豊かさには色々な形がありますが、本当の意味での豊かさ、そして、豊かな海とはどんな海でしょうか？

私たちが暮らす兵庫県の海では、瀬戸内海のイカナゴ、タコ、ノリ、日本海のホタルイカ、ズワイガニ、ハタハタなど、色々な美味しい魚介類がたくさん獲られています。



海では、森や街から川を通して流れ込む豊富な**栄養**が**海藻**や**プランクトン**の糧となり、**プランクトン**を**小さな魚**が食べ、**小さな魚**を**大きな魚**が食べながら、海の生き物が育まれています。そして、育まれた魚介類を漁業者が獲って、私たちは美味しい魚介類を食べています。

また、海は、生き物を育むことだけではなく、美しい水辺での生き物とのふれあい、砂浜や干潟(ひがた)・藻場(もば)による水質の浄化や二酸化炭素の取り込みなど、様々なはたらきをしています。こうした海のはたらきが、私たちの生活を支え、豊かさをもたらしています。



今、私たちの海は、昔と比べてきれいな水質になりました。

けれども、海の豊かさを支える窒素やリンなど、陸から海へ流れる栄養が減少しすぎて、海の中の栄養が少なくなり(貧栄養化)、海の生き物が育ちにくくなっていることを知っていますか? あなたの近くの海でも海の豊かさが失われ始めています。

## 海の栄養塩(窒素やリンなど)

※窒素やリンは、汚れではなく、海藻や植物プランクトンの『栄養』です。

### 適正な栄養

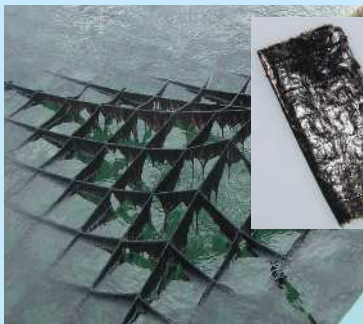
### 貧栄養

## 貧栄養になると...



透き通った海になります。

砂浜では、貝(アサリ等)や魚のエサになる生き物(ゴカイやカニ等)を見かけなくなります。



海藻(ノリ・ワカメ等)の色がつかなく(黄色く)なり、美味しくなくなります。



貝は痩せて美味しくなくなります。痩せすぎると死んでしまいます。



魚は痩せてしまったり、少なくなります。

※画像はイメージです。

ひょうご豊かな海発信プロジェクトでは、海の様々なはたらきを見つめ直しています。たくさんの恵みを得ることができる私たちの「豊かで美しい海」を実現するために必要なことを、県民のみなさんと考えていきます。森、川、街、海、魚、人、そのつながりの中で私たちが生きていることを...

「豊かで美しい海」を明日へつなぐ取組に参加してみませんか?

